

## WCCMでのアンケートにより得られた各施設の現状調査報告

<sup>1</sup>新生会 総合病院 高の原中央病院、<sup>2</sup>倉敷中央病院、<sup>3</sup>滋賀県立成人病センター、<sup>4</sup>永井病院、<sup>5</sup>東宝塚さとう病院、<sup>6</sup>京都九条病院、<sup>7</sup>福岡和白病院

野崎 暢仁<sup>1</sup>、清水 速人<sup>2</sup>、赤松 俊二<sup>3</sup>、太田 悦雄<sup>4</sup>、徳永 政敬<sup>5</sup>、平田 弥生<sup>2</sup>、川村 幸士<sup>6</sup>、山中 貴仁<sup>7</sup>

【はじめに】西日本コメディカルカテーテルミーティング (WCCM) は、西日本を中心に活動する心臓カテーテル検査 (以下心カテ) に関わる全てのコメディカルスタッフのための情報提供の場を提供する団体である。心カテに関するセミナーを京都・岡山・福岡にて年に3回開催しており、これまでに20回開催し現在までに延べ約4000名の参加があった。【方法】セミナーの参加者に主に自施設の心カテに関する現状についてのアンケートを実施し結果をまとめた。対象は2015年に開催した参加者のうちカテ室に従事する方で各施設1名の回答を抽出した。【結果】カテスタッフの配置は看護師・診療放射線技師はそれぞれ90%超えであり殆どの施設で従事している。臨床工学技士・臨床検査技師においては地域差があり京都開催 (近畿地方) では臨床工学技士は95%が従事しており最も多く、福岡開催 (九州地方) では臨床検査技師が59.5%と最も多く従事している結果となった。その他にも様々な結果が得られたので発表時に報告する。【考察】WCCMセミナー開催時に、参加者に自施設の取り組みやカテ室の状況についてアンケートを行った。質問内容によっては地域差も見られたが、各施設の状況を見てとることができた。我々WCCMはセミナー開催だけが目的にならないよう、心カテスタッフの情報共有の場、またカテスタッフの知識技術の共有により、より安全で安心な心カテ検査治療を提供することができる一助となれればと考え活動している。【結語】今後も各施設に有益な情報を発信していきたいと考えている。